

社会福祉法人ばなな 《後 期》 業務執行状況報告

2019年度 (10月~03月)

文責：業務執行理事 山口 和博

1. 役員会等開催状況

ア、評議員会 ⇒ 開催なし

イ、理事会

令和元年12月4日(水) 18:00 ~ サポートセンターはなのこみち

第66回理事会開催

出席理事：6名中6名 出席監事：2名中2名

【議案】①令和元年前期業務執行状況報告について ②令和元年度補正予算(案)について

③法人規程変更(案)について ④定款変更(案)について

⑤臨時評議員会招集について

【報告】①堺市実地指導について ②2020年1月~職員配置について

ウ、監査

①堺市実地指導(障害福祉サービス関係) → なし

②堺市法人指導監査(法人会計・運営等) → なし

2. 理事長専決事項 《職務権限分掌細則に基づく》

第2条、第1項：職員採用・退職状況

ア、職員採用・退職状況

【採用】

○常勤職員：女 性 → 令和02年03月02日付：サニー・ばなな配属

【退職】

○常勤職員：男 性 → 令和02年 3月31日付(期間 9年 3ヶ月)

●非常勤職員：女 性 → 令和01年10月31日付(期間 6年 6ヶ月)

●非常勤職員：男 性 → 令和01年12月31日付(期間 3年 3ヶ月)

令和元年度職員平均在職年数：7年 1ヶ月

第7項：契約関係 《固定資産取得内容等》 なし

第3条、第2項：事業者指定関係

① 11月~モンキーばなな(生活介護)：指定更新申請

② 12月~モンキーばなな(就労継続支援B型)：指定更新申請

③ 01月~はなのこみち：サービス管理責任者交代・重度障害者支援加算取得

- ④ 02月～サニー・ばなな：人員配置体制加算取得
- ⑤ 02月～相談支援：行動障害支援体制加算取得
- ⑥ 03月～サニー・ばなな：重度障害者支援加算取得
- ⑦ 03月～サニー・サイト：サービス管理責任者交代

3. 内部管理体制の運用状況 《法人組織内業務執行状況》

ア、事務局会議開催（毎月第一水曜日定期開催） → 理事兼任職員及び事務局長が参加
 《参加者》今井理事長・山口理事・松本理事・志田山理事・古川事務局長

① 令和元年10月02日（水）開催

【議題】1、有給休暇取得について（報告） 2、グループホーム拡充について
 3、各管理者より報告

② 令和元年11月06日（水）開催

【議題】1、新規利用者受入れ体制について 2、年末・年始のグループホーム応援体制と
 合同開所について 3、第一次補正予算（案）と予算進捗状況について
 4、各管理者より報告

③ 令和二年01月08日（水）開催

【議題】1、令和二年度の開所日数について 2、令和二年度の職員体制について
 3、令和二年度からの個別支援計画策定について 4、防災委員会について
 5、各管理者より報告

④ 令和元年02月05日（水）開催

【議題】1、新体験入居者の受け入れについて 2、令和二年度職員役割りについて
 3、常勤職員面談について 4、令和二年度各会議について
 5、各管理者より報告

※12月及び3月については、事務局会議を開催せず。

イ、虐待防止委員会 【前期報告事項】

①令和元年 8月19日（水）19：00～ サニー・ばなな 大会議室

虐待防止規程第17条の規定により、職員研修を開催。（社福）障友会より講師を招聘しての外部研修として開催した。職員19名が参加し、「根拠のある支援」や「不適切な支援から虐待は起こり得る」という視点を参加者全員で学び合った。

②令和元年 7月30日（火）10：00～ サニー・ばなな 作業室

虐待防止規程第17条第4項の規定により、家族、利用者、職員が参加して、NPO 法人かなびの丘より講師を招聘して、「成年後見制度」の講習会を開催した。

参加者内訳は、家族：13名。利用者：29名。職員：23名。合計：65名

4. 事業計画・予算進捗状況

1. モンキーばなな（生活介護⑩名定員＋就労継続支援B型⑩名定員）

【3月末現在】 263日間開所

生活介護事業（6名契約）平均利用者数→5.17人

就労継続支援B型事業（3名契約）平均利用者数→1.66人

4～3月（12ヶ月間）平均収入¥1,522,508

全体平均出勤率→70.7%

【事業総括】

10月から1名の方が、就労継続支援B型から生活介護へと契約変更をされたが、体調不良となり、後期は11月下旬から3月下旬までの4ヶ月間、入院と自宅療養をされ、ほとんど、出勤することができなかった。また、前期は休みがちでも出勤をされていた方が、後期は、11月から出勤されなくなり、現在は在宅での生活となっております。

7月から発展分割した、サニー・ばななへ利用者が移られた分、利用者人数もコンパクトになり、移動しやすい環境にもなったため、例年以上に外出行事に取り組むことができた。

来年度は、スペース的にも残り5名程度（平均利用者数）の受け入れの余裕があるため、早急にスペース的な充足を満たしていく必要がある。

2. サニー・サイト（就労継続支援B型⑭名定員＋生活介護⑥名定員）

【3月末現在】 282日間開所 →13日分は合同開所

生活介護事業（8名契約）平均利用者数→5.78人

就労継続支援B型事業（16名契約）平均利用者数→9.77人

4～3月（12ヶ月間）平均収入¥3,272,301

全体平均出勤率→81.9%

【事業総括】

サポートセンターはなのこみち（グループホーム）のバックアップ施設として、土曜日や祝日は積極的にサニー・ばななとも合同開所を企画し、十二分に機能を発揮することができた年度となった。経験豊かな職員が揃い、多数配置されているため、比較的、安定しての事業運営とすることができた。

利用者の出勤率改善・向上については、長期休養されている方については、毎月、2回以上の家庭訪問を実施し、様子をお伺いしながら、家族のレスパイトにつとめ、関係性が途切れないうちに、管理者を中心に心を砕いてきた。その結果、徐々に、半日単位（遅刻や早退時の送迎対応）でも、利用される日も増え、改善傾向が見える形となってきた。

また、生産活動についても、2017年度堺市長賞に続き、授産製品コンクールで「古墳クッキー」が金賞を受賞する快挙も成し遂げることができた。来年度も精力的に新商品の開発に努め、認知度や販路拡大にも取り組み、利用者工賃の増額を目指していきたい。

中期目標にも記載されている通り、開所後13年の年数が経過し、事業所本体はもちろんのこと、備品や設備も経年劣化が見受けられてきた。備品については、各種の民間助成団体に助成金の申請を行い、今年度事業として、「赤い羽根共同募金」より、最新設備の『次亜塩素空調除湿脱臭機』を2台設置することができ、衛生面も含め、環境改善を整えることもできた。

3、らふたあ（居宅介護＋移動支援＋介護保険）

【3月末現在】 利用契約者数：51名（内介護保険は3名）（法人外契約は26名）

（4月～3月までの平均稼働時間数と総稼働時間数） 【今年度前期平均稼働時間対比】

ア、居宅介護（身体・家事）⇒ 179h ・ 2149.5h 【+ 10.0】

イ、重度訪問介護 ⇒ 174h ・ 2095.5h 【- 12.0】

ウ、同行援護 ⇒ 55h ・ 661.0h 【- 3.0】

エ、移動支援 ⇒ 468h ・ 5618.0h 【- 62.0】

オ、介護保険 ⇒ 71h ・ 857.0h 【+ 23.0】

※必要サービス提供責任者数⇒ 1.9名（常勤専従1名と兼任常勤2名）

（4月～3月までの登録ヘルパー平均総支給額と総支給額）

平均：1,053,626円 総支給額：12,643,516円

【事業総括】

年間通して、登録ヘルパー不足は慢性化し、派遣不足からくる稼働率の低下は、改善することは困難であった。収支も例年通りの稼働率ではあったが、今年度から処遇改善加算の配分比率の是正を実施した影響もあり、赤字になることはなく、人件費率も下がり、次期繰越活動増減差額も過去最大の額を計上することができた。さらに、受給者証において、行動障害（重度支援）と判定されている方々へのきめ細かいサービス提供を実施するべく、来年度の準備として、行動援護の創設を進めており、指定が取れ次第、順次、相談支援とも連携し、行動援護に切り替えていく予定である。

4、サポートセンターはなのこみち（グループホーム）

【3月末現在】入居契約者数：10名 【空き室 なし】

共同生活援助事業 延べ入居者数＝3,393名（10名契約）平均入居者数→ 9.3人

4～9月（6ヶ月間）平均収入¥2,895,337 居室稼働率→92.7% →※①

【※①計算式】

居室数10室×期間（4～3月＝366日間）＝3,660 3,393名÷3,660室

【事業総括】

事故報告書（別紙参照）記載の通り、3月23日に職員の見守り不足のため、職員からの「依頼」の声かけが届かず、立ち上がり後、体幹のバランスを崩され、大腿骨骨折の重大事故を引き起こしてしまった。診断の結果、約2ヶ月間の入院・手術、リハビリとのことで、支援員会議でも職員の意識改革はもとより、「安心・安全」を徹底するため、会議と合わせての研修にも取り組んでいくことが確認された。

新型コロナウイルスの影響で、3月～は入居者が楽しみにされていた、外出も大幅な制限と自粛がなされ、ストレスを感じさせてしまう、生活リズムとなったが、支援員からの粘り強い、説明と支援でギリギリのところまで納得していただき、ストレスからくる、大きな体調変化等は、防止することができた。

5、サポートセンターはなのこみち（相談支援）

【3月末現在】契約者総数：49名

《障害種別》

性別／障害種別	身 体	知 的	精 神
男 性	5	16	3
女 性	8	17	0

《利用事業所別》

モンキーばなな	サニー・サイト	サニー・ばなな	はなのこみち	法 人 外
6名	12名	9名	10名	12名

【事業総括】

今年度は法人外の方、3名が他事業所に移られ契約解除となった。その反面、新規契約はなく、引き続き、基幹相談等の関係機関を回り、契約増加に努めていく必要がある。今年の2月には、強度行動障害支援者養成研修を修了した相談員1名を配置し、きめの細かいサービス提供体制を整えることができた。

地域公益活動については、位置づけをしている事業以外は、情報発信のみにとどまっているため、地域を巻き込みながら、様々な活動に取り組んでいく必要がある。

6、サニー・ばなな（生活介護②名定員）

【3月末現在】 207日間開所

生活介護事業 （9名契約）平均利用者数→7.61人

7～3月（9ヶ月間）平均収入¥2,311,398 全体平均出勤率→95.1%

【事業総括】

体調不良等で長期欠勤される方は、いらっしゃらなかったが、2次障害のような体調不良が頻発し、通院から休養へと事業所を休んで在宅療養される方がおられた。今後、加齢に伴う、2次障害が多くの方に症状として、出てくる可能性が高いので、医療機関や理学療法関係者とは、緊密に連携をしていく必要が高まっている。

収支については、2月に「人員配置体制加算再取得」し、3月には「重度障害者支援加算取得」も取得することができ、さらには、エリア内のバックアップ施設としての機能を果たすべく、サニー・サイトと合同でグループホームの方々を含めた、利用を土曜日開所として受け入れをすることができ、収支改善に努めることができた。

オープン後は大会議室と駐車スペースが大きいという立地条件がそろっているため、堺市内の法人や事業所で構成するネットワークの会議を開催しており、少なからず、地域貢献につなげられることができた。

5. 地域公益事業

①堺支援学校 第1回「福祉秋祭り」

令和元年（10月27日（日））に開催された第1回「福祉秋祭り」では、法人職員6名が「たこ焼き」の出展を行い、祭り自体の盛り上げはもちろんのこと、地域住民に対しても、関係団体と協力し、地域福祉と障害者福祉の理解増進につなげることができたと思われる。

目的：①在校生と卒業生をはじめとする障がい児・者とその団体および地域住民が共にイベントを楽しむ。②地域への障がい児・者の理解を深める。③障がい者団体と諸団体の連携・交流を深める。

②第25回福祉フェスティバル

堺市内の障害福祉サービス事業所（13団体）が集まり、実行委員会を立ち上げ、令和元年11月23日（祝）に開催した。毎年恒例の大抽選会では、前売り・当日販売の抽選券、5,000枚が完売しており、関係者も含め、延べ7,000名以上の地域の方々が来場され、地域に対しても、障害者福祉の理解におおいに貢献することができた。

当法人としても、法人職員8名体制で「たこ焼き」の出展を行い、フェスティバルの盛り上げに多少の貢献はできたと思われる。

6. 他法人（団体）との連携・交流

【 連携法人 】

- ①（社福）堺あけぼの福祉会 理事1名 → 合計3回の理事会へ出席。
- ②（社福）カトリア会 監事1名 → 合計4回の理事会へ出席。
- ③（社福）障友会 評議員1名 → 合計2回の評議員会へ出席。

7. 民間助成団体への各種助成金申請状況

①日本財団：「福祉車両」⇒**応募多数のため不採択**

②24時間：「福祉車両」⇒**応募多数のため不採択**

③赤い羽根共同募金会：「クッキー室の空気清浄器購入」⇒令和元年12月に購入設置済。
¥388,000（内、自己負担金¥98,000円）
※令和二年度、モンキーバナナに普通車両購入補助が決定。

④丸紅基金：「クッキー室の整備」⇒**応募多数のため不採択**

⑤清水基金：「福祉車両」⇒**応募多数のため不採択**

⑥年賀寄付金：「福祉車両」⇒採択実績より、3年経過していないため未申請。